

株式会社HYAKUSHO 会社概要

The Local Cultivating Company



H Y A K U S H O

The Local Cultivating Company

私たちは「新しい公共をつくる」会社です。

ちょっと聴き慣れない言葉を使いましたが、私たちはこのビジョンをととても大切にしています。想いをお話しする前に、少しわたしたちの時代認識についてお伝えさせてください。

これまで、公共＝行政というイメージがありました。公共的なことは、行政に任せていれば良いという価値観が近代国民国家をつくる過程の明治期から強くなっていったと思います。しかし、結・講・座が示すように、日本には人々の支え合いの社会技術が多くありました。寺子屋は、世界的に見ても優れた民の教育システムであったと言われていました。

戦後日本でも、護送船団方式が示すように、明治期の国家観を踏襲し行政が強く、公共＝行政のイメージは強くありました。転換点になったのは、1995年に発生した阪神淡路大震災です。全国から多くのボランティア団体が駆けつけ、行政でもなく企業でもなく、市民が社会を支える力を見せつけました。その後、特定非営利活動推進法が制定され、市民社会を支える諸制度が整備されていきました。しかし、この20年間は「官から民へ」のスローガンのもと、公共分野における企業進出が進んだとはいえ、市民の社会への進出は遅れてしまいました。

行政のトップダウンでもなく、企業への丸投げでもありません。

わたしたちは、これまでの轍のもと、行政と企業そして市民がバランス良く社会を支える仕組みをつくっていききたいと思っています。そして、この3者がバランスし、社会を統治することを、わたしたちは「新しい公共」と呼びます。古い価値観を回顧するものではありません。地域の文化を守るために投資をする会社や、ボランティアに積極的な市民の方、市民活動にコミットするNPOなど、パブリックマインドを持つ主体は多くいます。特に、私たちが住むローカルと言われるエリアで実感するところです。多くの主体と連携し、公共的な課題に取り組んでいくことがいま時代に求められています。

わたしたちは、公共分野に対する専門的な知識とまちづくりの実践で培われたノウハウをもって、この「新しい公共」をつくっていく上でその「媒介者」として活動していきたくて考えています。

そして、わたしたちは、ローカルでこそ、「新しい公共」をつくること多くの課題を解決することになると考えています。

「ローカル×新しい公共」であるべき未来をつくっていきます。

多様性の地平を目指して

様々なバックグラウンドを持った方々が関わるのは大変です。でも、これからの時代はそこに未来があると思っています。特にローカルでは、1人1人の「出番と居場所」をつくっていくことが重要です。新しい日常は、いま目の前にあるものを見つめ直すことからしか作れないと考えています。

The Local Cultivating Company

会社概要

会社名：株式会社HYAKUSHO
所在地：香川県丸亀市通町52番地7
設立日：2019年8月19日
資本金：500,000円

事業内容

- エリアマネジメント事業
- 官民連携事業（PPP/PFI事業）
- 公共経営事業

支援自治体：（2020年7月末時点・敬称略）

佐賀県上峰町、高知県須崎市、高知県宿毛市、大阪府貝塚市、愛媛県西予市、香川県丸亀市、香川県多度津町

研究・メディア情報



イタリアレッチョエミアから1時間半のスッチェゾヌーヴォーに視察。社会協同組合のあり方と行政との関係について。

「かがわ経済レポート」に弊社代表が掲載。民間主導のまちづくりについて。



湯川 致光
ゆかわ よしあき

代表取締役
パブリック・ディレクター

1986年1月11日東京都生まれ。
東北大学公共政策大学院修了（公共法政策修士）、
立命館大学政策科学研究科博士課程在籍。
地域情報研究所研究員。

神奈川県庁、香川県庁、高松空港株式会社を経て独立。県庁時代は、官民連携、ICT推進、マイナンバー事業に従事。高松空港時代は、広報・観光マーケティング、2次交通を担当。専門はPPP/PFI、官民連携、観光まちづくり、市民協働。市民活動の中間支援組織のNPO法人わがことのプロジェクトマネジャー。丸亀市リノベーションまちづくり実行委員会委員長歴任。四国財務局、松山市等で講演。テキサスA&M大学講義（オンライン）等、月刊「地方財務」寄稿。

The Local Cultivating Company

実際のまちづくり事業であるエリアマネジメント領域での実践経験と自治体に対するコンサルティング領域で得られる知見を相互に組み合わせ新しいサービスを提供していきます。

エリアマネジメント領域



空き家見学まちあるきツアー



空き家解体体験

エリアマネジメント 事業

香川県丸亀市の中心市街地を拠点にし、丸亀市と連携した「やりたいができる、出番と居場所があるまち」を目指し、空き家を活用した賑わいづくり、スモールビジネスの創出等を展開しています。



事業計画ワークショップ



空き家Barイベント



都市公園の利活用



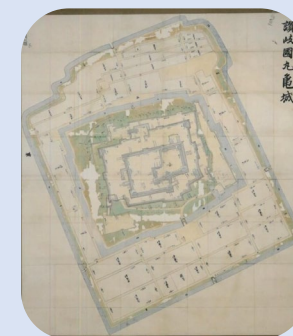
廃校の利活用

官民連携事業 (PPP/PFI)

PPP/PFIに関連するガイドラインの作成、地域プラットフォームの構築、基本構想策定、導入可能性調査、アドバイザー業務、モニタリング業務、その他関連する研究開発事業などを行います。

公共経営事業

公共経営に関するコンサルタント業務を行います。主に、都市計画関係、観光関係、まちづくり関係を専門分野として、幅広いリサーチとクリエイティブな制作を得意とします。



古地図も把握して現在の都市のあり方を検討します

コンサルティング領域

The Local Cultivating Company

香川県丸亀市の中心市街地を拠点にし、丸亀市と連携した「やりたいができる、出番と居場所があるまち」を目指し、空き家を活用した賑わいづくり、スモールビジネスの創出等を展開しています。



リノベーションスクール@丸亀市の開催

県外事業者と連携して実施。よりビジネススペースに空き家の利活用のための事業計画をグループで作成し実践するスクール。瀬戸内地域初開催。

2016年

2017年

2018年

2019年



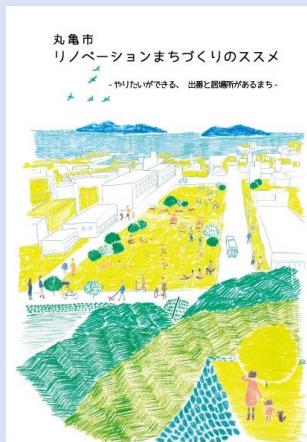
空き家Barの開催

空き家を1日限りのBarに仕立てるイベントを実施。市民の方にまちなかに関わるきっかけを演出し、まちの景色を1日限りでも変えていく取り組み。

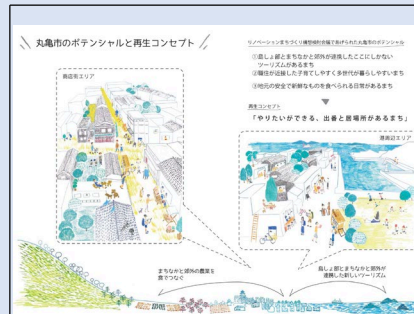


リノベーションまちづくり実践講座

まちなかの空き家を活用して、スモールビジネスを実践したい方を対象にした講座を開催。空き家をリノベーションしてビジネスをやっている方などにヒアリングし「お金とやりたいこと」と向き合う半年間にしました。



「丸亀市リノベーションまちづくりのススメ」の製作



丸亀市のまちなかが目指すべき雰囲気とコンセプトを策定。全5回の市民巻き込み型検討委員会を踏まえて「やりたいができる、出番と居場所があるまち」を策定。行政の計画でもなく、あえてふわっとした方向性を示すことで、市民の参画を促すことを目的としています。